

本社屋のZEB化

ZEBとは

Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことを指します。

地球温暖化対策のため、我が国は2020年10月に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

業務部門(事務所ビル、商業施設などの建物)においてエネルギー起源CO₂排出量を2013年度比51%削減するといった目標が設定されており、建物でのエネルギー消費量を大きく減らすことができるZEBの普及は非常に注目されています。

建物の中では人が活動しているため、エネルギー消費量を完全にゼロにすることはできませんが、省エネによって使うエネルギーを減らし、創エネによって使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることができるという考え方です。

当社の取り組み

2023年6月竣工の当社屋改築によるZEB化により、カーボンニュートラルの実現へ向けて第一歩を踏み出しました。

建物コンセプトとしては、『快適な室内環境と魅力的な内外観を両立させ、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支を極力ゼロに近づけること』を目指します。

建物のエネルギー消費量を減らすため、下記のさまざまな技術を適切に組み合わせて導入することで、ZEBを実現します。

- ①パッシブ技術によってエネルギーの需要を減らす。
- ②どうしても必要となる需要についてはエネルギーを無駄なく使用する。
- ③そのエネルギーを創エネ技術によって賄う。

また、建物の運用段階には、どこにエネルギーの無駄が発生しているか、どのように効率的に設備を運用するかなど、エネルギーをマネジメントする技術(エネマネ技術)も重要です。

合せて、今回の計画は建物の耐震性向上を中心に、より地域で頼られる企業、頼られる存在になるため、企業が緊急事態時の被害を最小限に抑え、事業が継続できるように対策や方法をまとめた事業継続計画(BCP(Business Continuity Plan))の充実化にも関連しています。

ZEBの取り組みは、これからの地域、日本のみならず、地球全体で意識し、取り組まなければならない課題であると認識しています。

産業面でのエネルギー消費量削減活動は大きな意味を持つ社会貢献であり、個々の取り組み事例を率先してまわりへ発信していくことで、より効果的なものとなります。

また、ZEB導入による意識改革やトータルコストの削減により、より付加価値の高い新サービスの展開や、SDGs・健康経営へも一層の取り組みを行っていきます。



<https://www.env.go.jp/earth/zeb/index.html>(環境省 ZEB PORTAL)